


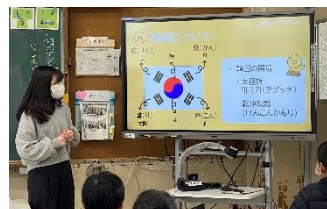




## 3年生国際交流会

昨日(15日)、3年生は国際交流会館から3人のゲストを招いて、国際交流会を開きました。ゲストの出身国は、それぞれアメリカ、中国、韓国の方々でした。交流会では、子供たちから日本の紹介をすると、ゲストからは祖国の文化の紹介がありました。また、子供たちからの質問タイムもあり、異文化について学びを深めた時間となりました。子供たちに学んだ感想を聞くと「アメリカのマックのドリンクのMサイズが、日本のLサイズと同じ大きさだということにびっくりした。」「中国の話聞いて、日本語と言葉や発音が全く違うので、もっと知りたくなりました。」「韓国は国旗がとても複雑ということやキムチなど辛い物が人気で、キムチ用の冷蔵庫まであることを知りびっくりしました。」と述べていました。また、交流会を通して伸びた心を聞くと「 帯西グリーンの心が伸びました。わけは、グループのみんなで力を合わせてお土産づくりをすることができたからです。」「 帯西レッドの心が伸びました。わけは、交流会の前は、日本のことを知ろうと思わなかったけど、日本のことを調べて、やってみると楽しかったからです。」「 帯西イエローの心が伸びました。わけは、外国のことを詳しく知ることができたし、『世界の国々に親しむ』の心が伸びたからです。」とそれぞれ成長の実感を味わっていました。充実した交流会になったようです。



さきもり

## 防人の歌

万葉集にはたくさんの旅の歌が収められています。特に第20巻には「防人歌」といって、防人という兵士の仕事をするために家を離れた人と、それを見送った家族の歌が集められています。防人とは、外国からの攻撃や侵入を防ぎ、国を守る仕事をした兵士です。21歳から60歳までの男性にその任務に就く義務が課せられ、多くは東国(関東地方)に住む人から選ばれました。選ばれた人は、東国から任務地である北九州の海沿いまで赴任することになります。当然、7~8世紀の飛鳥・奈良時代ですから、東国から任務地である北九州の海沿いまで長い旅をすることになります。任期は3年間ですが、徒歩で往復するためにそれ以上に長い期間、家族と離れ離れになります。また、無事に故郷に帰って来られるかもわからない時代でした。

ちちはは かしら な さ いい けとば わす

**父母が 頭かき撫で 幸くあれて 言ひし 言葉ぜ 忘れかねつる**

これは出発の際に、両親との別れを思い出した歌です。「幸(さ)くあれ」は無事であるよという意味です。両親が頭を撫でて、無事であるよと言ってくれた言葉が忘れられない、ということです。今も昔も家族の思いは変わりませんね。